

釧路川標茶地区水害タイムライン検討会 設立趣旨

1. 設立趣旨

タイムライン（事前防災行動計画）とは、防災関係機関において、対象とする災害について、事前にとるべき防災行動を、「いつ」「誰が」「何をするのか」に着目して時系列で整理したものです。

「釧路川標茶地区水害タイムライン検討会」は、これまでの堤防や河道掘削などの河川整備や近年の豪雨災害を踏まえると、河川改修等のハード整備に加え、ソフト対策として標茶地区のタイムラインを関係機関で共有することが有効であると考え、タイムライン作成に向けた検討を行うものです。

この検討会では、標茶地区において水害が想定される数日前からその後の対応まで、各関係機関がとるべき行動を「タイムライン」として整理し、その内容を関係機関で共有することを目的として設置することとしました。

2. 参加機関

（関係機関）

標茶町、標茶町教育委員会、標茶消防署、標茶消防団、標茶町土木建設業協会、標茶町自治会連合会、弟子屈町、釧路方面弟子屈警察署、陸上自衛隊釧路駐屯地、釧路総合振興局、釧路地方気象台、釧路開発建設部

（アドバイザー）

北見工業大学 高橋清教授、北見工業大学 早川博教授、
東京大学大学院 松尾一郎客員教授

3. 効果

水防体制の見直し・改善

顔が見える関係の構築

早め早めの防災行動の確立、漏れ・抜け・落ちの解消

住民の早期避難

防災機関、町内会が一丸となった災害対応の実施

4. 検討会は公開にて開催し、検討結果はHP等にて情報発信を行うこととします。